

「テクニカル指標・順張り買い分析」

10/1、日経平均は5日連続安。681円安の28771円です。

この一週間の下げで、菅総理不出馬宣言の前に戻ってしまいました。

菅総理がやめて、相場は上昇し、岸田新総理（正確にはまだですが。）で相場は下落。相場は、新総理に期待していないというのが今のところの経過でしょうか・・・。



J P法ソフトには、様々なテクニカル指標が登録されています。

今回は、その中で順張り買いの分析、かつローソク足との組み合わせの指標について買い場はいつだったのかを調べてみました。

8月後半から日経平均は、ほぼ一方通行の上昇。そして 9/14 にはバブル崩壊後の高値を更新、30796円です。

この間に順張りの買いポイントは当然あるわけですが、順張り買いのテクニカル指標はどのタイミングで買い転換したのかを調べてみます。

そして、複数のテクニカル指標を比べていつ出動出来るのかを考察してみましょう。

分析は日足で、使うテクニカル指標の周期は全て「5」としました。

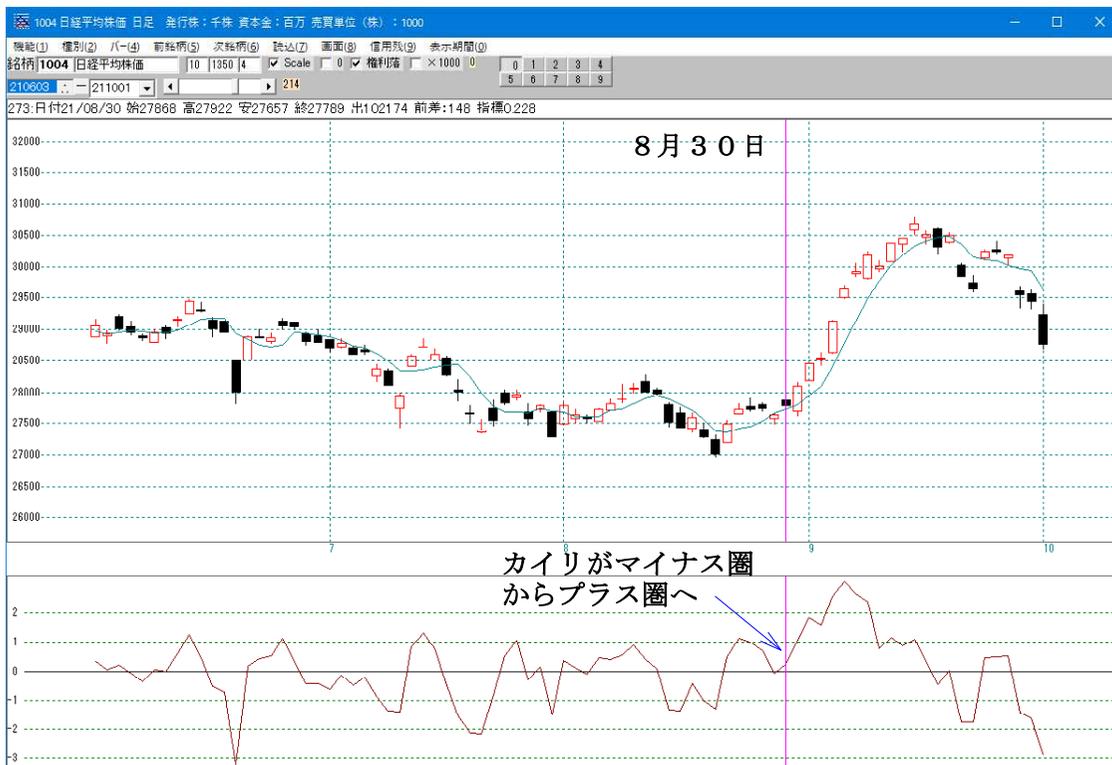
■ローソク足と移動平均線の関係

ローソク足（終値）が移動平均線を越えた時を買い転換とする。

使う指標

1 5. カイリ度 周期「5」

4 3. 移動平均線 周期「5」



8月30日に終値が移動平均線を越えてきました。この日が買い転換日です。

カイリ度でいうところのマイナス圏からプラス圏となった日です。

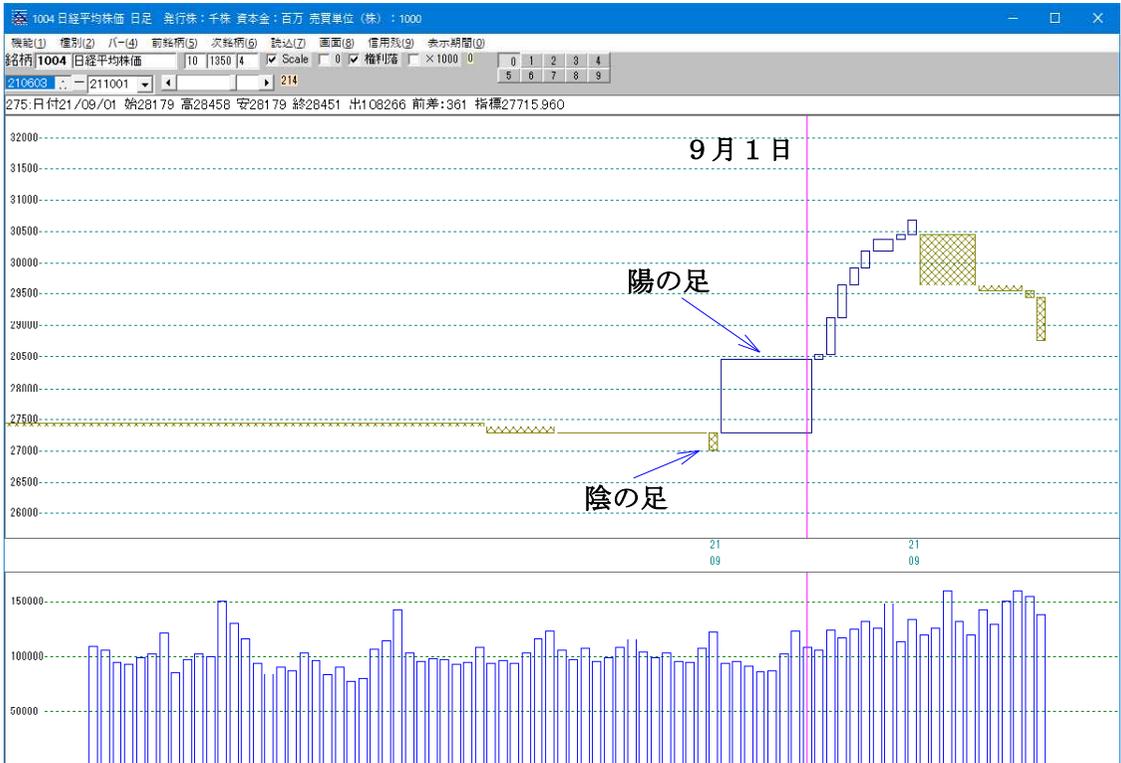
※8月23日にも超えていますが、その後、8月27日に潜ってしまっていますので、この日は採用しない、としました。

■新値足

新値足が陽転した時を買い転換とする。

使う指標

3 4. 時系列新値N本足（終値採用） 周期「5」



9月1日に陽転しました。

※もっと早くに陽転しているようにも見えますが、新値を更新しないと（新値足自体の更新、終値が過去5日の高値を超えたからという事ではありません。）転換しませんので、9月1日となります。

試しに、チャート表示の最後を8月31日として、新値足を表示させると転換していない事が分かります。



ここを8月31日とする。

■高値超え

ハイローバンドが陽転した時を買い転換とする。

使う指標

4 2. ハイローバンド 周期「5」



8月24日に陽転しました。

■ ローソク足と過去移動平均値との関係

イカリ足が陽転した時を買い転換とする。

使う指標

65. イカリ足 周期「5」



8月23日に陽転しました。

先に挙げたローソク足と移動平均線は、当日も移動平均線の計算に含まれましたが、こちらのイカリ足は、含まれません。

前日までの移動平均線と、当日の終値との比較です。

※この指標は面白そうです。一般的に皆が使っている移動平均線とローソク足の位置か関係ではないからです。

よく言われる25日移動線を上回った、下回ったとは違いがあります。

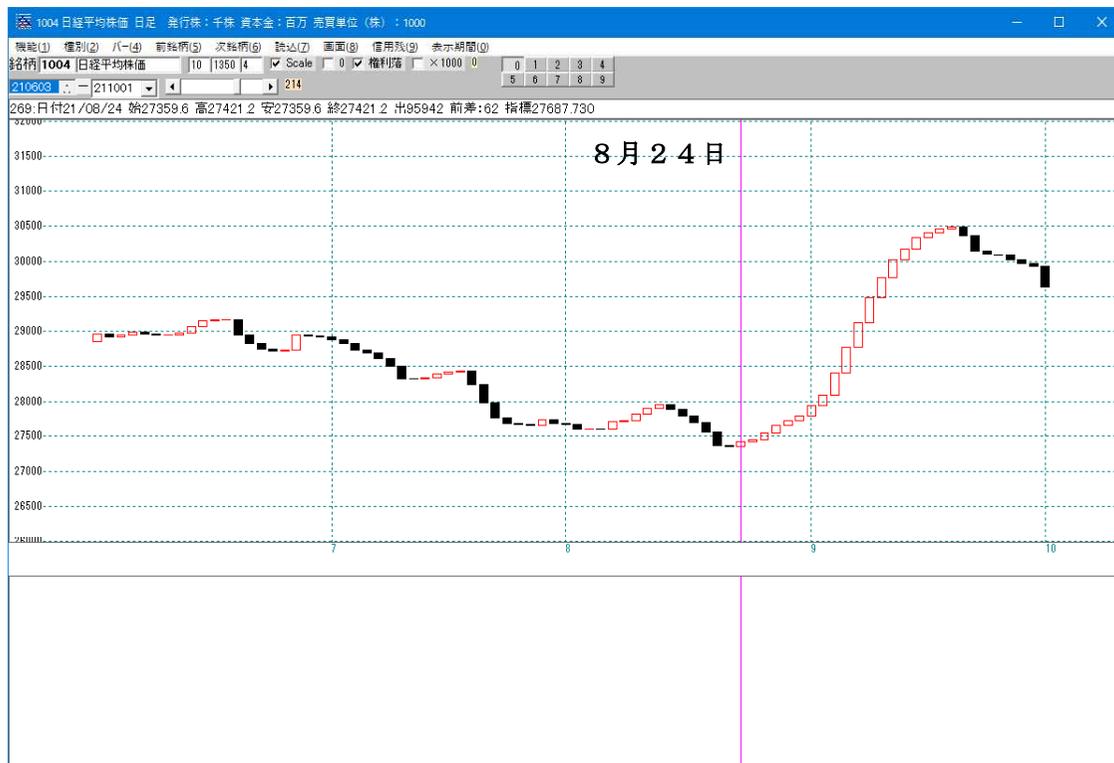
前日までの平均値と当日を比較する。この考えは良さそうに思います。

■移動平均線のみ

大引け平均足が陽転した時を買い転換とする。

使う指標

90. 大引け平均足 周期「5」



8月24日に陽転しました。

■買い転換した順番

8月23日 65. イカリ足

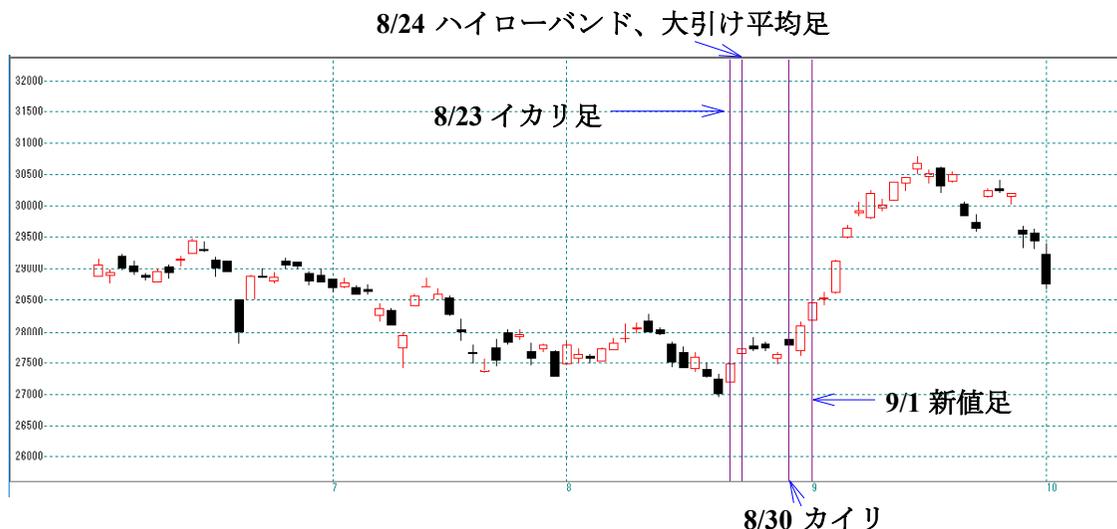
8月24日 42. ハイローバンド

8月24日 90. 大引け平均足

8月30日 15. カイリ度

9月 1日 34. 時系列新値N本足（終値採用）

■それぞれの買い転換日



■考察

8月23日を皮切りに、最後は9月1日。この期間内にここで取り上げたテクニカル指標は買い転換しました。

全て周期は「5」としましたが、同じ日に買い転換したものはあるものの、バラけたといっていていいでしょう。

順張り買いですから、当然底では仕掛けることが出来ません。ある程度上昇したらとなります。

今回の上昇相場では、最初の8月23日に陽転したからといって、仕掛けることは難しかったのではないのでしょうか。

翌日の24日にハイローバンドが陽転して、ここで良いかも？と判断出来そうです。

新値足を待っていると、上昇してしまっていますからこの手前で仕掛けたいところ。

そうすると、カイリ度が買い転換した8月30日でしょう。ここで新規買いです。

このように複数の順張りテクニカル指標をみていく事で、階段を1歩1歩、上るように次の階段を踏んだら、仕掛けよう。と出来ると思います。

ハイローバンドが陽転したから、仕掛ける。というのではなく、複数のテクニカル指標を併せて判断していくのはいかがでしょうか。

直近では、大幅下落。バブル崩壊後の高値からは、2000円を超える下げ。率にすると6.57%の下落。
ここから続落したとして、28000円台前半からの切り返しに期待したいところ。

今回紹介した、順張り買いテクニカル指標は全て陰転済みです。

衆議院選挙もあるので、このままズルズルと下へとはならないかと。どこかのタイミングで再び上昇に向かうと予想します。
その時、テクニカル指標の複合分析で買い場を探り、仕掛けてみてはいかがでしょうか。